2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　日本和装ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2499　　ＵＲＬ　https://www.wasou.com/profile/ir/
代表者　　（役職名）代表取締役会長兼社長　　（氏名）吉田　重久
問合せ先責任者　（役職名）管理担当取締役　　（氏名）岩本　福子　　ＴＥＬ　03-5843-0097

配当支払開始予定日　　2026年12月14日
決算補足説明資料作成の有無：　無
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,512	7.3	429	120.5	380	141.3	208	107.8
2025年12月期第３四半期	3,274	△4.5	194	△34.1	157	△40.3	100	△37.1

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　210百万円（142.4%）　2025年12月期第３四半期　86百万円（△44.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	23.07	―
2025年12月期第３四半期	11.09	―

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,510	3,795	44.6
2025年12月期	8,771	3,732	42.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　3,795百万円　2025年12月期　3,732百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	3.00	3.00	3.00	7.00	16.00
2026年12月期	3.00	3.00	6.00		
2026年12月期（予想）				5.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

2026年12月期第３四半期末配当金６円00銭には、上場20周年記念配当３円00銭が含まれております。なお、詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正及び第３四半期剰余金の配当の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,670 ～4,770	4.1 ～6.4	601 ～653	60.3 ～74.1	543 ～590	67.6 ～82.1	321 ～354	38.9 ～53.2	35.62 ～39.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	9,065,600株	2025年12月期	9,134,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	96,800株	2025年12月期	68,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	9,052,233株	2025年12月期３Ｑ	9,065,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（重要な後発事象の注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）において、当社グループは、５月27日に発表した「ONE日本和装」の方針のもと、本社と全国16拠点が一体となった営業運営体制の強化、「和装家」を軸とした顧客基盤の充実及び組織運営の効率化に取り組みました。５月以降の体制整備や６月の「和装家アカデミー」開講など、段階的に進めてきた施策が、第３四半期には集客及び販売機会の拡大につながりました。また、経営体制の変更や人員体制の変化に伴い、役員報酬や人件費等が減少する中、専門性を生かした役割分担の見直しを進め、売上高の増加と収益性の改善を図りました。

当社グループは、着付け教室を入口として、きものを学び、着用し、交流する機会を提供し、その過程で生まれる商品への需要を販売仲介につなげる事業を展開しております。このため、教室修了後もお客様との関係を継続し、きものを楽しむ機会を充実させることが、中長期的な収益基盤の強化につながると考えております。

営業運営面では、局長会等を通じて各拠点の販売実績や課題、好調な取り組みを継続的に共有し、施策の改善や他拠点への展開を進めました。また、本社に新設した「和装ラボ」と各拠点が連携し、お客様の声を催事の企画や表現、会場づくりに反映しました。企画から告知、集客、会場運営までを一体的に進めることで、現場の知見と本社の企画力を結びつけ、販売機会の拡大を図りました。教室に伴う販売会では、１クラス当たりの受講人数の拡大や販売会回数の増加に取り組み、７月の販売会実績は前年同月比139.4%、購入件数は同125.8%となりました。

顧客基盤の充実に向けては、自らきものを着ることができる方を「和装家」と位置づけ、その技術や文化の担い手としての価値を尊重する取り組みを推進しました。「和装家アカデミー」や「きもの一灯塾」等の学びの場に加え、着用・交流の機会を提供し、きものを着る喜びや誇りを継続して感じていただける関係づくりに努めました。こうした取り組みが、着用機会に応じたきものへの需要を生み、販売会や各種催事での購買機会の拡大につながりました。

８月に開催した「ブリリアンツ全国大会」では、「日本をまとい、世界へ ― Wear Japan with Pride」をスローガンに掲げ、総額300万円の賞金を設けた「和装家PRIZE」を実施するなど、和装家の皆様が主役となる企画を展開しました。「和装ラボ」と各拠点が連携し、その理念を集客活動や会場の設え、運営に反映したことが参加意欲を高め、同大会の参加者数は過去最高となりました。大会に向けた夏物等の購入需要に加え、会場での販売機会も拡大し、同大会の売上高及び取扱高はいずれも過去最高を記録しました。９月には「ツナグミライ」等の催事を展開するとともに、上場20周年記念企画を推進しました。

これらの取り組みを支える基盤として、加盟店・講師・社員の「三身一体」による連携強化にも取り組みました。商品を届ける加盟店、着付けを指導する講師、企画・運営を担う社員が共通の目的を持ち、学びから商品選び、着用までを支えることで、お客様に提供する価値の向上に努めました。

組織運営面では、少数精鋭の体制のもと、各人が専門領域に注力できる役割分担を進め、本社と各拠点が相互に連携・補完する運営体制の整備に取り組みました。経営体制の変更や人員体制の変化に伴い、役員報酬や人件費等が減少したことにより、販売費及び一般管理費が前年同期を下回り、増収効果とあわせて営業利益の増加につながりました。売上高営業利益率は前年同四半期の約5.9%から約12.2%へ改善しました。今後も、専門性の発揮と全社的な連携によって営業・サービスの質を高めながら、効率的な費用構造の定着を図り、売上の拡大を利益の成長につなげる収益基盤の強化を進めてまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は3,512百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は429百万円（同120.5%増）、経常利益は380百万円（同141.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は208百万円（同107.8%増）となりました。

今後は、「和装家」のブランド価値向上と、「ONE日本和装」による全社的な営業運営力の強化を両輪として、継続的な成長を目指してまいります。2026年12月末から展開を予定する2027年春に向けた広告も、継続的なブランド育成の一環と位置づけ、認知の拡大を教室への参加や着用機会の創出につなげる計画です。また、各拠点で得られたお客様の声や施策の成果を全社で共有し、企画やサービスの改善に反映することで、新たなお客様の参加と既存のお客様の継続的な利用を促してまいります。これらの取り組みと効率的な組織運営を継続し、顧客基盤の拡大と収益性の向上の双方を進めてまいります。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は8,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が245百万円増加した一方で、割賦売掛金が208百万円、営業未収入金が75百万円及びその他が169百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は217百万円となり、前連結会計年

度末に比べ15百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が11百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、8,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は3,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ533百万円減少いたしました。これは主にその他が79百万円増加した一方で、短期借入金が652百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円増加いたしました。これは長期借入金が209百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ323百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は3,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加208百万円、剰余金の配当117百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.6％（前連結会計年度末は42.6％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期連結業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の業績及び足元の事業動向等を踏まえ、2026年２月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正及び第３四半期剰余金の配当の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,510,605	2,756,124
営業未収入金	244,487	168,853
割賦売掛金	5,096,469	4,888,012
棚卸資産	153,457	126,997
その他	565,300	396,094
貸倒引当金	△31,672	△43,111
流動資産合計	8,538,647	8,292,970
固定資産		
有形固定資産	108,456	104,423
無形固定資産	15,526	4,106
投資その他の資産	109,051	109,418
固定資産合計	233,035	217,948
資産合計	8,771,683	8,510,919
負債の部		
流動負債		
営業未払金	43,119	21,271
短期借入金	2,671,742	2,019,302
未払法人税等	35,096	84,283
契約負債	356,446	353,693
営業預り金	30,470	45,708
その他	481,381	560,819
流動負債合計	3,618,256	3,085,078
固定負債		
長期借入金	1,414,820	1,624,179
その他	6,000	6,000
固定負債合計	1,420,820	1,630,179
負債合計	5,039,076	4,715,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	274,124
利益剰余金	2,967,295	3,053,778
自己株式	△22,629	△29,509
株主資本合計	3,715,075	3,776,590
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	565	－
為替換算調整勘定	16,965	19,070
その他の包括利益累計額合計	17,531	19,070
純資産合計	3,732,606	3,795,661
負債純資産合計	8,771,683	8,510,919

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,274,650	3,512,274
売上原価	283,966	344,725
売上総利益	2,990,684	3,167,549
販売費及び一般管理費	2,795,966	2,738,139
営業利益	194,717	429,409
営業外収益		
受取利息	5,460	7,370
助成金収入	43	－
為替差益	689	2,940
その他	1,017	1,370
営業外収益合計	7,211	11,681
営業外費用		
支払利息	31,599	40,264
支払手数料	12,117	10,448
過年度付加価値税等	－	9,642
その他	492	114
営業外費用合計	44,209	60,469
経常利益	157,719	380,621
特別利益		
収用補償金	22,197	－
特別利益合計	22,197	－
特別損失		
減損損失	－	8,566
送金詐欺損失	－	50,000
特別損失合計	－	58,566
税金等調整前四半期純利益	179,916	322,054
法人税、住民税及び事業税	34,176	112,545
法人税等調整額	45,240	630
法人税等合計	79,416	113,175
四半期純利益	100,500	208,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,500	208,878

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	100,500	208,878
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△967	△565
為替換算調整勘定	△12,719	2,105
その他の包括利益合計	△13,687	1,539
四半期包括利益	86,813	210,417
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,813	210,417

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	14,845千円	14,427千円

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。